

令和5年度習志野市災害医療本部及び応急救護所訓練 実施報告

1. 日 時

令和5年11月5日（日）8：30～13：00

2. 会 場

- (1) 災害医療本部訓練：市庁舎グランドフロア協働スペース
- (2) 応急救護所訓練：第一中、第二中、第七中
- (3) 救急告示病院（津田沼中央総合病院・谷津保健病院・習志野第一病院）、
災害拠点病院（済生会習志野病院）

3. 目 的

各応急救護所における設置・運営訓練および災害医療本部、災害拠点病院・救急告示病院（4か所）、各応急救護所（3か所）間の情報伝達訓練（無線による画像伝送訓練）を実施し、各場所・各自の役割や課題の共有を図ることを目的とする。

4. 参加機関

習志野市医師会、習志野市歯科医師会、習志野市薬剤師会、習志野市アマチュア無線非常通信連絡会、救急告示病院（津田沼中央総合病院・谷津保健病院・習志野第一病院）、災害拠点病院（済生会習志野病院）

5. 参加者

	災害 医療本部	応急救護所			救急告示病院 災害拠点病院(※)	避難所 健康管理	合計 (名)
	グランドフロア・ 協働スペース	第一 中学校	第二 中学校	第七 中学校	津田沼中央総合病院 谷津保健病院 習志野第一病院 済生会習志野病院(※)		
医師会	3	4	3	4	10 (医師以外の病院の職員含む)	—	24
歯科医師会	3	3	4	3	—	—	13
薬剤師会	4	5	3	2	—	—	14
アマチュア無線 非常通信連絡会	2	2	2	2	—	—	8
市職員	10	6	6	6	—	3	31
合 計	22	20	18	17	10	3	90

※済生会習志野病院 院長小林様、総務課 佐藤様が災害医療本部を見学

6. 実施方法

防災訓練計画書のとおり

7. 各会場での反省会・職員報告からみた今後の課題

今年度は、救急告示病院（習志野第一病院、津田沼中央総合病院、谷津保健病院）と災害拠点病院（済生会習志野病院）、医療本部、保健会館を除く3会場の応急救護所による計8会場にて、無線による音声と画像伝送を用いて情報伝達訓練を実施した。今回除外とした保健会館は、助産師会の総合防災訓練参加に伴う避難所健康管理等の対応にて人員を要するため、縮小とした。

今回の訓練内容に画像伝送が加わり、視覚的に情報を捉えられ誰もが内容を確認出来ることとなった一方で、画像伝送に時間を要し各会場で報告待ちとなる場面が多々生じた。

効果的な情報伝達を行うために、各会場での設置状況や被災情報の報告内容をフォーマット化し、報告する者も受ける者も共通理解を図り、簡潔に確認できる体制を整えていく必要がある。また、効果的な報告方法や情報伝達内容等の優先順位等を、各会場で共通理解することで、限られた情報ルートを有効に利用できるよう整理する必要がある。上記を踏まえ、次年度の訓練や有事に備え準備していく。

また、今後の訓練内容について、①EMIS 入力訓練②電波が通じる状況下での連絡方法等訓練が提示された。より実際に反映できる訓練内容を検討していく。